

# 第4次静岡県環境基本計画の推進 (概要)

静岡県 暮らし・環境部 環境局 環境政策課

# 第4次静岡県環境基本計画の概要

## 策定趣旨

環境を巡る情勢変化に適切に対応するため、第4次静岡県環境基本計画を策定

## 主な情勢変化

- ▼SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組の本格化
- ▼首相による2050年カーボンニュートラル宣言
- ▼新型コロナウイルス感染症による影響
- ▼大規模開発等における自然環境や生活環境への影響の懸念

## 計画期間

令和4年度～令和12年度（2022～2030） 9年間 （5年程度をめぐりに見直し）

## 目指すべき将来像

地球環境を守り、地域資源を活かし共に支え合う、  
「環境と生命の世紀」にふさわしい“ふじのくに”の実現



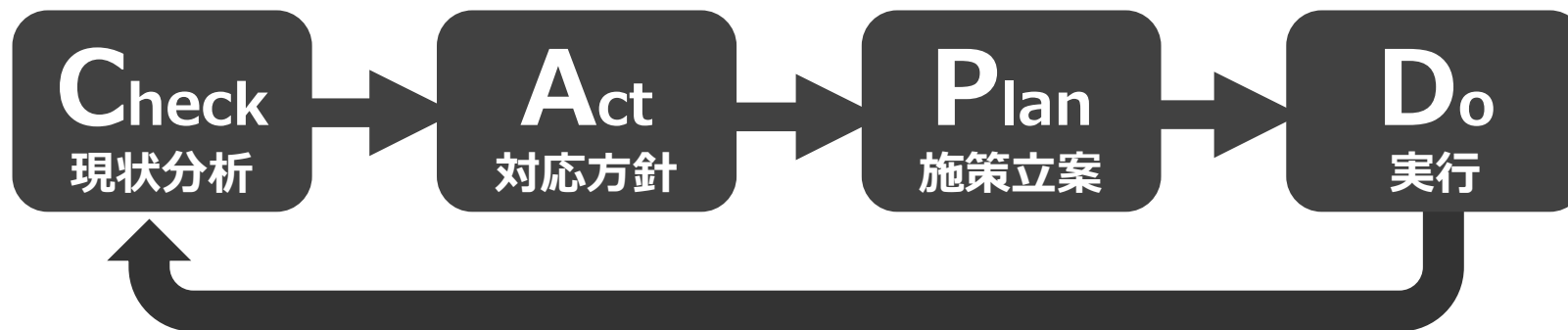
## 将来像を実現するための施策展開

- 1 脱炭素社会の構築 ～カーボンニュートラルの実現～
- 2 循環型社会の構築 ～資源循環と自然循環の促進～
- 3 良好な生活環境の確保 ～安全・安心な暮らしを守る～
- 4 自然共生社会の構築 ～人と自然との関係を見つめ直す～
- 5 環境と調和した社会の基盤づくり ～全てに共通する施策～



## 計画の推進体制

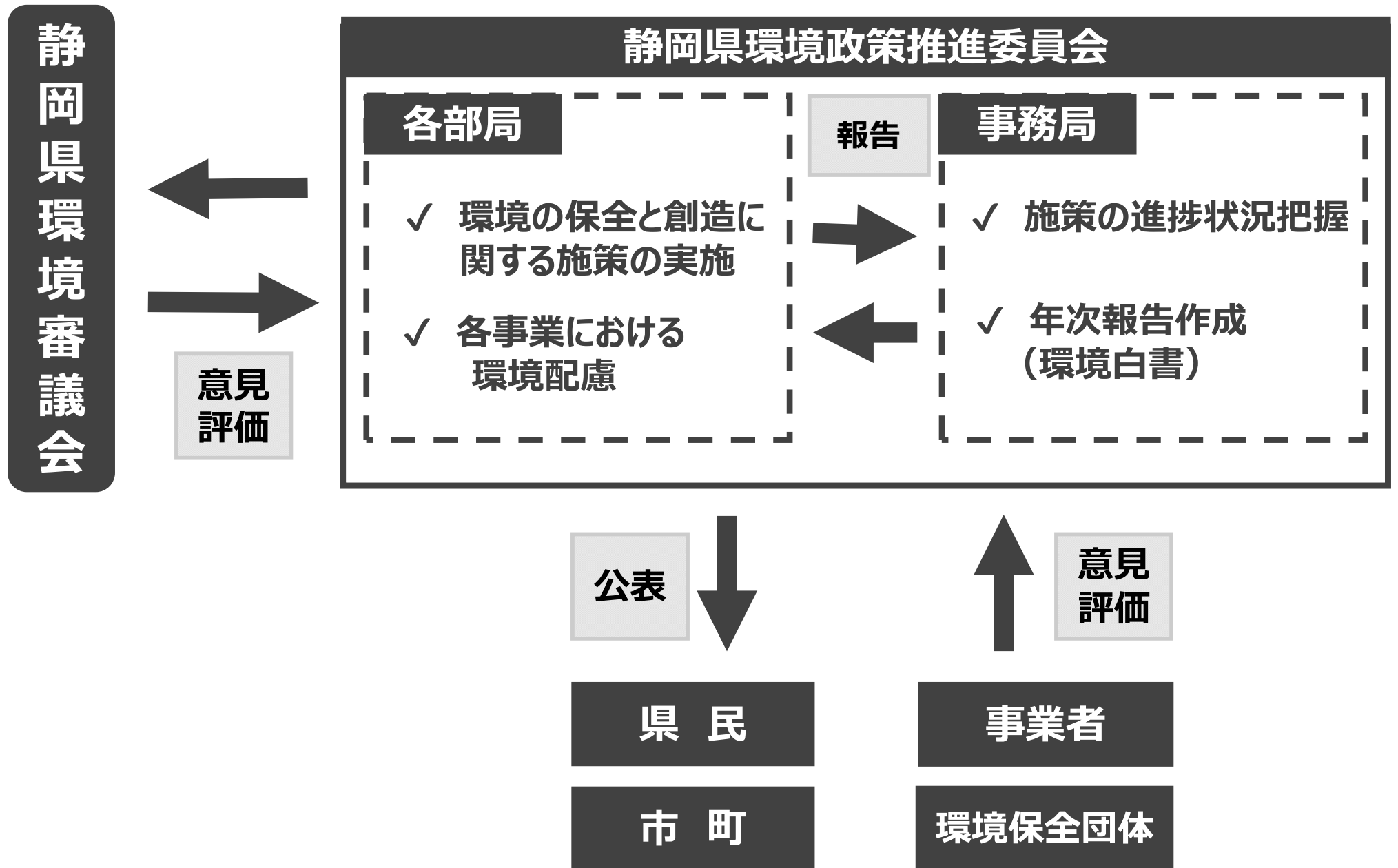
### CAPDによる計画の推進



### 指標による進捗状況の管理

項目	成果指標	活動指標	合計
脱炭素社会の構築	6	20	26
循環型社会の構築	3	6	9
良好な生活環境の確保	2	8	10
自然共生社会の構築	5	12	17
環境と調和した社会の基盤づくり	2	5	7
計	18	51	69

# 計画推進体制



# 1 脱炭素社会の構築

指標	基準値 (年度)	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
県内の温室効果ガス排出量の削減率 (2013年度比) (%)	△13.0% (2018年度)	△17.3% (2019年度)	△32.6%	△46.6%
エネルギー消費量(産業+運輸+家庭+業務部門)削減率(2013年度比) (%)	△6.5% (2018年度)	△9.2% (2019年度)	△19.4%	△28.6%
再生可能エネルギー導入量(原油換算:万kl)	52.3万kl (2020年度)	52.3万kl (2020年度)	72.7万kl	84.7万kl
県内の電力消費量に対する再生可能エネルギー導入率 (%)	18.2% (2020年度)	18.2% (2020年度)	26.0%	30.6%
森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積 (ha)	10,314ha (2020年度)	11,116ha (2021年度)	毎年度 11,490ha	毎年度 11,490ha (2025年度)
木材生産量 (万m <sup>3</sup> )	42.1万m <sup>3</sup> (2020年)	45.2万m <sup>3</sup> (2021年)	毎年 50万m <sup>3</sup>	毎年 50万m <sup>3</sup> (2025年)

# 1 脱炭素社会の構築

## ＜今後の主な施策展開＞

- 省エネ支援員による省エネルギー診断や省エネ設備の導入、建築物のZEB化など、中小企業の脱炭素経営への転換に向けた支援の実施
- 「クルポ」の普及拡大や家庭向け啓発ツールの開発等により県民の行動変容を促進
- 各家庭や事務所への太陽光発電設備の導入を促進
- 林道・森林作業道等の路網整備、間伐等の森林整備、病害虫獣による森林被害対策の実施により適正な整備・保全を推進
- 県での率先利用に加え、市町や民間建築物での県産材利用を促進

## 2 循環型社会の構築

指標	基準値 (年度)	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
一般廃棄物排出量 (1人1日当たり) (g/人・日)	885 g/人・日 (2019年度)	858 g/人・日 (2020年度)	853 g/人・日以下	826 g/人・日以下
一般廃棄物最終処分量 (1人1日当たり) (g/人・日)	43 g/人・日 (2019年度)	40 g/人・日 (2020年度)	39 g/人・日	37 g/人・日以下
産業廃棄物最終処分量 (千t/年)	229千t/年 (2019年度)	219千t/年 (2020年度)	毎年度 229千t以下	毎年度 229千t以下

### ＜今後の主な施策展開＞

- 食品ロスの削減など、一般廃棄物の排出量削減に向け県民に身近な実践を啓発
- 排出事業者や処理業者を対象とした適正処理に関する研修会を引き続き実施
- 他機関等と連携し、不法投棄防止に向け、パトロールや立入検査等対策を強化
- 6 R 県民運動に係る清掃活動イベントの主催や、イベント情報等の発信により、県民参加を促進



### 3 良好な生活環境の確保

指標	基準値 (年度)	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
地下水条例対象地域のうち、適正揚水量を確保している地域数（達成率）	5地域 (100%) (2020年度)	5地域 (100%) (2021年度)	毎年度 5地域 (100%)	毎年度 5地域 (100%)
水質が改善した河川数 (河川)	0河川 (2020年度)	13河川 (2021年度)	12河川	12河川

#### <今後の主な施策展開>

- 地下水位などの観測や採取量の把握により、地下水の持続的な利用と保全を図るとともに、小中学生に健全な水循環の重要性を啓発
- 水道事業の基盤強化のため、具体的な連携方策等について検討
- 水質汚濁及び大気汚染の発生源となる工場・事業場に対し、立入検査及び排出基準の遵守の指導を実施
- 浄化槽新規設置者への講習や未受検者への案内等により法定検査の受検を促進

## 4 自然共生社会の構築

指標	基準値 (年度)	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
県内の野生生物の 絶滅種数(種)	0種 (絶滅12種) (2020年度)	0種 (絶滅12種) (2021年度)	0種 (絶滅12種)	0種 (絶滅12種)
ふじのくに生物多様 性地域戦略推進 パートナー(南アルプ スプロジェクト)の委 嘱数(件)	1件 (2020年度)	6件 (2021年度)	累計10件	累計15件
伊豆・富土地域ニホ ンジカ推定生息頭数 (頭)	45,400頭 (2020年度)	2022年11月 公表予定 (2021年度)	7,000頭 (2026年度)	7,000頭
森づくり県民大作戦 参加者数(人)	11,898人 (2020年度)	12,972人 (2021年度)	毎年度 28,000人	毎年度 28,000人
地域の緑化活動団 体数(団体)	187団体 (2020年度)	219団体 (2021年度)	300団体	300団体

## 4 自然共生社会の構築

### ＜今後の主な施策展開＞

- 指定種の保護方針及び保護回復事業計画の策定
- ICTの活用や捕獲空白域での捕獲圧の強化により、ニホンジカの効果的な捕獲を実施するとともに、捕獲する技術に応じた研修を開催し、担い手の確保・育成を実施
- 富士山登山者へのマナー啓発、外来植物の侵入防止対策及び除去活動を実施
- 「南アルプスモデル」の構築実現に向けて関係者と連携し協働して取組を推進
- 緑化推進のため、緑化コーディネーターの養成や幼稚園児に対する花育研修を推進

## 5 環境と調和した社会の基盤づくり

指標	基準値 (年度)	現状値 (年度)	中間目標値 (2025年度)	目標値 (2030年度)
新たに環境経営に関する制度に参加し取り組む事業者数(者)	70者 (2020年度)	45者 (2021年度)	毎年度 75者	毎年度 75者
環境保全活動を実践している若者世代の割合(%)	77.4% (2021年度)	74.8% (2022年度)	78.0%	80.0%

### <今後の主な施策展開>

- 県内の先進的、特徴的な環境ビジネスに関する事例集を作成し、県内企業等に優良事例の情報を提供
- 環境学習情報の発信や普及啓発を行うポータルサイトを構築するとともに、児童・生徒の学習内容の理解を深めるため環境教育・環境学習に関するコンテンツ等を作成
- 社会情勢の変化に伴う新たな政策課題の解決に向け、新たな価値を創造するオープンイノベーションによる研究開発を推進